

しらぬか 議会 だより

NO.173
2026. 7.24

- 2 令和 8 年第 1 回臨時会概要
- 3 令和 8 年第 2 回定例会概要
- 5 町民と議会の懇談会のご案内
- 6 一般質問 5 人



子どもたちの笑顔輝くまちづくり

(茶路連合大運動会)

条 例

一部改正



●白糠町附属機関に関する条例

白糠町いじめ防止対策委員会を常設するため、条例の一部を改正した。

質疑・答弁

問 どのような人員で委員会を構成するのか。

答 白糠町にゆかりのある人で、元学校長やスクールカウンセラー、人権擁護委員などを予定している。

問 町内3校のいじめの件数を示されたい。

答 いずれも令和7年度の調査結果になるが、いじめの認知件数は小学校段階で延べ143件、中学校段階で延べ13件であった。

現在はずべて解消されている。

8年度補正予算

一般会計補正予算



補正合計 1億4,230万6千円
総 額 264億 330万6千円

▲増額

ふるさと納税関連	10,000,000円
陸上スポーツ交流事業	10,000,000円
元気しらぬか応援券事業	74,956,000円
その他	47,350,000円

農業委員の任命



令和8年7月19日に任期満了を迎えた農業委員について、次期委員9名を任命することに同意しました。

- | | |
|-------------|------------|
| ●五十嵐政敏氏(再任) | ●石黒隆行氏(再任) |
| ●石田正義氏(再任) | ●酒井伸吾氏(再任) |
| ●澁谷幸子氏(再任) | ●田代幸男氏(再任) |
| ●林 稔幸氏(再任) | ●松田浩二氏(再任) |
| ●松永康彦氏(新任) | |

※ 氏名は50音順に掲載

第2回 定例会

6月
3日

・一般質問

6月
4日

- ・条例改正
- ・令和8年度補正予算
- ・工事請負契約の締結
- ・財産の取得
- ・公平委員会委員の選任
- ・農業委員会委員の任命
- ・副町長の選任
- ・意見書案
- ・議員の派遣

公平委員会の選任



令和8年7月31日で任期満了となる公平委員会委員について、4年の任期で次の3名の選任に同意しました。

- ・厚岸町 久保田 真 次 氏
- ・標茶町 石 塚 剛 氏
- ・白糠町 池 田 浩 樹 氏

※ 公平委員会は管内町村などによる共同設置となっており、委員の選任については、共同設置者全ての同意が必要となります。

意 見 書



- ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出します。

条 例

一部改正



●町税条例

税制改正に伴い、軽自動車税と個人住民税、固定資産税で所要の改正をした。

●白糠町国民健康保険税条例

税制改正により、新たな課税区分として「子ども・子育て支援納付金」が新設されたことに伴い、所要の改正をした。

質疑・答弁

問 子ども・子育て納付金の該当世帯数と標準世帯における税額および令和8年度の影響額は。

答 該当世帯数は1,018世帯で、夫婦と子ども2人世帯で2.7%の増が見込まれており、令和8年度の影響額は418万6,000円となっている。

工事請負契約

締結



●白糠町子育て支援住宅建築工事(第1工区)

- ・契約方法 随意契約
- ・契約金額 1億1,399万3,000円
- ・契約相手 株式会社八百坂建設
- ・工事場所 白糠町西5条北1丁目1番地9 外
- ・工 期 令和8年 4月24日から
令和8年12月18日まで

●白糠町子育て支援住宅建築工事(第2工区)

- ・契約方法 随意契約
- ・契約金額 1億1,154万円
- ・契約相手 山根土建株式会社
- ・工事場所 白糠町西5条北1丁目5番地5 外
- ・工 期 令和8年 4月24日から
令和8年12月18日まで

質疑・答弁

問 随意契約にした経緯を説明願う。

答 本件は、プロポーザル方式を採用した上で事業者を公募し、事業の実施内容もデザインビルド方式であるため、設計、建設、施工管理までを一括して行うことから、随意契約とした。

※ 設計と施工を同じ会社に一括で発注する方式

第1回 臨時会

4月
21日

- ・行政報告
- ・専決処分の承認
(令和7年度補正予算・条例改正)
- ・令和7年度白糠町一般会計
繰越明許費繰越計算書の報告
- ・財産の取得(町営バス)
- ・工事請負契約

7年度補正予算(専決)

一般会計補正予算



補正合計▲1億3,359万8千円
総 額 371億6,195万5千円

▲増額

公共施設等整備基金など	1,597,797,000円
ふるさと納税関連	1,483,856,000円
教育基金など	1,565,546,000円

▲減額

まちづくり基金	4,775,105,000円
繰出金	5,692,000円

質疑・答弁

問 令和7年度白糠町ふるさと納税寄付額順位は。

答 本年7月末に公表されることになっており、現時点では不明だが、昨年12月末時点では1位ではなく、年明けの動向からも上位には追いつけないと感じている。

財 産

取得



●町営バス

- ・財産の種類 町営バス
- ・品名および数量 マイクロバス29人乗り1台
- ・取得の目的 白糠町営バス運行のため
- ・取得価格 1,228万8,730円
- ・取得の相手方 有限会社カーポート・シラヌカ

町民と議会の懇談会

テーマ「これからのまちづくり」

今年は各町内会の会長・役員さんと「これからのまちづくり」と題し、懇談会を開催いたします。

町民と議員が自由に意見交換する場として実施しますので、どなたでも参加可能です。

と き／**10月6日 火 14時00分**

ところ／**白糠町社会福祉センター 大会議室**

- 限られた時間で充実した懇談とするため、意見交換の内容はテーマに沿ったものとし、行政への誹謗中傷、地域に偏った要望・苦情などをご遠慮ください。
- 事前質問は受け付けしません。また、上記についてご協力をお願いいたします。
- 参加をご希望される方は、各町内会長さん宛てにご連絡をお願いいたします。
- 問い合わせ先／白糠町議会事務局
☎ 01547-2-2171 Fax 01547-2-4659
E メール：giji@town.shiranuka.lg.jp



当日スケジュール

- 13:30 受付
- 14:00 開会
 - ・主催者あいさつ
 - ・趣旨説明
- 14:10 意見交換
- 15:30 閉会

議会へ傍聴に来てみませんか。

町民皆さんの議会です。
定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程および一般質問の概要を掲示しております。
町のホームページにも議会情報を掲載しております。
<https://www.town.shiranuka.lg.jp/>



傍聴者へのお願い

- 1 携帯電話、スマートフォンは電源をお切りください。
- 2 開議中、飲食（健康管理を目的とした水分補給は除く）・喫煙はできません。
- 3 カメラ・録音機器の持ち込みはできません。
- 4 おしゃべりや議事の妨害、他人へ迷惑をかけないようにしてください。
- 5 帽子やコートなどは着用しないでください。

副町長の選任



令和8年6月15日で任期を迎えた副町長について、新たに4年の任期で再任することに同意しました。

◎白糠町西庶路 木村 政勝 氏

財 産

取得



●水槽付消防ポンプ自動車

- ・財産の種類 消防用車両
- ・数量 1台
- ・取得の目的 消防業務に供するため
- ・取得価格 5,489万円
- ・取得の相手方 山崎自動車株式会社

●仮設トイレ

- ・財産の種類 防災用備品
- ・数量 40基
- ・取得の目的 津波避難対策に供するため
- ・取得価格 2,323万2,000円
- ・取得の相手方 有限会社プロジェクト

議員の派遣



北海道町村議会議長会主催による議員研修会、議会広報研修会並びに釧路町村議長会主催による議員研修会への議員派遣を承認しました。

◆北海道町村議会議員研修会【札幌市】

日 時：令和8年7月2日
対 象：議員全員

◆町村議会広報研修会【札幌市】

日 時：令和8年8月18日
対 象：広報広聴調査特別委員会委員

◆町村議会広報研修会【東京都】

日 時：令和8年8月28日
対 象：広報広聴調査特別委員会委員

◆釧路町村議会議員研修会【弟子屈町】

日 時：令和8年11月16日から17日
対 象：議員全員

工事請負契約

締結



●定住宅地造成工事（西庶路花園団地）

- ・契約金額 3億2,670万円
- ・契約相手 北興・白崎 経常建設共同企業体

●恋間3丁1号通り改良工事（その1）

- ・契約金額 2億58万5,000円
- ・契約相手 山田・市橋 経常建設共同企業体

●恋間3丁1号通り改良工事（その2）

- ・契約金額 1億8,150万円
- ・契約相手 八百坂・森江 経常建設共同企業体

●高砂橋架換工事

- ・契約金額 1億2,595万円
- ・契約相手 山根・阿寒 経常建設共同企業体

●縫別川沿線改良工事

- ・契約金額 1億1,191万4,000円
- ・契約相手 株式会社大前技建工業

●川西幹線改良工事

- ・契約金額 1億2,562万円
- ・契約相手 株式会社八百坂建設

●白糠駅前広場整備事業複合施設整備建築主体工事

- ・契約金額 13億790万円
- ・契約相手 山根・葵 特定建設工事共同企業体

●白糠駅前広場整備事業複合施設整備機械設備工事

- ・契約金額 1億1,671万円
- ・契約相手 山田水道機工株式会社

●白糠駅前広場整備事業複合施設整備電気設備工事

- ・契約金額 1億3,365万円
- ・契約相手 サンエス・関 経常建設共同企業体

●防災行政無線（同報系）拡声子局更新工事（その1）

- ・契約金額 1億5,763万円
- ・契約相手 サンエス・関 経常建設共同企業体

●防災行政無線（同報系）拡声子局更新工事（その2）

- ・契約金額 1億3,178万円
- ・契約相手 北電・清水 経常建設共同企業体

問い合わせ 提案する

一般質問

※議員5人が12件14項目について質問しました。
 ※一般質問は1人90分以内で、町長・教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。



森 武人 議員・・・・・・・・・・・・・7分

- 1 災害時の車避難について
- 2 車中泊避難者などの支援について

石田 正義 議員・・・・・・・・・・・・・8分

- 1 各公共事業計画予定について
- 2 住宅建設に係る支援制度について
- 3 野火・林野火災について

今田 睦子 議員・・・・・・・・・・・・・9分

- 1 「RS ウイルス感染症」について
- 2 熱中症対策と水分補給について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・10分

- 1 食品スーパー誘致について
- 2 町道の損壊について
- 3 高齢者対策について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・11分

- 1 高齢者生き生きハンドブック内、高齢者に関する事業について
- 2 市街地内の公園整備について

※掲載している内容は、質問者自身が要約し、広報広聴調査特別委員会が校正したものです。個人の見解が含まれている場合もあります

問 災害時の車避難について

答 今後も原則徒歩避難を推奨する

問 津波からの避難は徒歩を推奨しているが、高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児などがある場合や、津波の到達予想時間内に徒歩では間に合わない地域などでは例外的に車による避難も認められている。

北海道新聞が実施した防災アンケートでは、道内沿岸85市町村のうち約7割が、住民による車避難の容認に前向きな姿勢を示していると公表された。

釧路管内での車避難を認める避難計画は、「昨年7月のカムチャツカ半島沖地震の前に策定済み」が、釧路市、釧路町、浜中町で、本町は「今



森 武人 議員

後検討する」となっていた。本町における車避難についての考え方を伺う。

答 津波からの避難は、「いち早く、安全に、高いところに逃げる」「逃げるが勝ち」を掲げ、原則、徒歩による高台避難を推奨し、避難訓練や防災講座、広報などを通じて町民へ周知してきた。

やむを得ない事情で車避難をする場合は、高台の津波指定避難場所や津波避難タワーではなく、町内2カ所のインターチェンジ付近や十勝管内本別町など、できるだけ早く、遠い場所へ向かうよう啓発してきた。

東日本大震災では、多くの車が一斉に避難したこと都市街地が大渋滞となり逃げ遅れ、津波に巻き込まれる事態が発生した。また、大地震による道路の破損や液状化現象による隆起・陥没などで、車避難自体の危険性が想定されることから、本町では原則、徒歩避難を推奨している。

津波からの避難は、それぞれの自治体において地形や地域の特性により、独自のル―

問 車中泊避難者などの支援について

答 車中泊避難者を分け隔てなくできる限りの対応を図る

問 災害対策基本法が改正され、「避難所以外の場所に滞在する被災者についての配慮」が努力義務として規定され、避難所以外の場所に滞在する被災者についても生活環境の整備を図ることが位置付けられた。

ペット同伴や、障がいがある、大勢が集まる避難所では生活できない方は、車での避難を余儀なくされるケースがある。

本町における車中泊避難者などの支援について、考え方を伺う。

答 内閣府の指針やガイドラインに基づき、「避難所運営マニュアル」を作成し、避難所の速やかな開設と、良好な避難所生活の環境整備に努める。

避難者本人の障がいや、ペットの同伴があることで、大勢が集まる空間での生活が困

難な方は、一般避難者と分かれて過ごすことができるスペースを確保する方針である。また、避難所へ避難せず車中泊で避難を希望する方にも、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒の危険性などを周知するとともに、各避難所の駐車場など目配りができる範囲で、一般避難者と同様に食事やトイレなどの提供を行う。

問 車で避難して、食事やトイレの提供を受けることができる避難場所について、住民へ周知することが必要と思うが伺う。

答 災害にに応じて開設される避難場所は、SNSや防災無線で周知するので、開設してから避難していただきたい。

問 エコノミークラス症候群の危険性や一酸化炭素中毒、熱中症や低体温症への対応など、『災害時における車中泊避難ガイド』について作成し町民へ周知することも必要と思うが伺う。

答 避難所へ備え付けているが、ホームページなどで啓発を行う。



石田 正義 議員

問 各公共事業計画の予定について伺う

業の執行環境は厳しさを増しているが、防災施設など社会インフラは、住民生活や経済を支える重要な基盤であり、町民の安全安心を確保するためにも可能な限り推進していかなければならない。今後の諸状況を勘案しながら取り進めていく。

答 諸状況を勘案し、可能な限り推進していく

問 公民館、駅前広場の工事は進んでいるのか。

新得町では、資材が入ってこないなどで、工事を中止せざるをえないなどと聞く。防災センターは計画を検討するなど必要ではないのか。

問 本年度より実施している公民館改修工事、今後予定されている防災センターの建設など、現在の建設資材の高騰や流通の混乱などが続くなか、これら後続の事業も当初の計画通り実施予定か伺う。

答 図書館、駅前広場の事業は、中東情勢の影響を把握しながら進めていく。防災センターは、基本設計まで終えているが、事業費は高騰が予想されるため、状況をしっかり勘案し、できる限り進めていく。

答 近年の資材価格高騰や中東情勢の緊迫化による物流の影響で、今後の公共事業を取り巻く環境は不透明さを増している。建設資材価格上昇や、石油由来製品の入手困難な状況、さらに輸送コストや人件費の上昇も重なり、公共事業

予定通り完成できるかは、今後の社会情勢にもよるため、検討しながら、議会とも相談しながら進めていく。

問 住宅建設に係る支援制度について伺う

答 宅地無償譲渡制度、新築助成制度を展開し、移住定住を推進できるよう最善を尽くす

問 人口減少対策および定住促進として住宅に関する手厚い支援策を展開している。宅地の無償譲渡や、住宅新築に対しての助成が拡充され、他自治体と比較しても極めて魅力的な政策であり、町内外からの注目も高い。それら支援策の稼働状況を確認する。また、持続的な定住促進へつなげるためにどのような施策を考えているのか。

答 新築住宅への助成制度は、平成25年度から開始し、本年4月から、町内外業者に関わらず、新築住宅一軒当たり500万円の支援、町内業者、地域材、太陽光設置で250万円の制度も継続している。

問 新築住宅への助成制度は、平成25年度から開始し、本年4月から、町内外業者に関わらず、新築住宅一軒当たり500万円の支援、町内業者、地域材、太陽光設置で250万円の制度も継続している。

答 宅地無償譲渡制度は、6団地36区画は整備済みで、橋北団地13区画の公募を行った。

問 橋北団地申し込みの5区画は町内からか、町外からなのか。もう一歩ふみ込んで、固定資産税減免など考えはないか。

答 申し込みは、町内から4件、町外から1件となっている。固定資産税減免は、新築に對して行っている。期間を、3年から5年に見直し、新築された方には、減免の案内をしている。

問 野火・林野火災について町として対応、備えを伺う

答 消防装備や資機材の充実で、予防力および対応力向上に努めていく

問 野火や林野火災が多く、異常気象や温暖化など原因は多岐にわたる。町としての対応、備えが必要と思うが考え方を伺う。

答 山林火災は99%が人為的な理由といわれており、火災予防運動の重要性を呼びかけて行く。

野火や林野火災が発生した場合、釧路市西消防署白糠支署、消防団が迅速に出動し初動対応を徹底し人的、物的被害の最小化に努めている。

消防装備、資機材の充実、関係機関との連携体制の強化など対応向上に努めていく。

問 「RSウイルス感染症」について

答 妊婦さんの対象者に対して接種勧奨を行っている

問 乳幼児が重症化しやすい「RSウイルス感染症」予防のため、妊婦を対象にしたワクチンの定期接種が、4月から始まった。

生まれた子どもに効果が出る母子免疫ワクチンの定期接種は初めてで、専門家は「重症化リスクを減らすことができる意義は大きい」と指摘する新聞記事が掲載された。保護者や年長のきょうだいなどからRSウイルスに感染し、乳幼児では約3割で咳が悪化し、重症化することが多いと聞いている、本町では妊婦に「RSウイルスワクチン」の接種が行われて



今田 睦子 議員

いるのか伺う。

答 RSウイルス感染症は小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こし新生児や乳幼児が感染すると重症化しやすい、この重症化予防を目的として、2024年5月より国内で任意接種（自己負担）ではあるが、ワクチン接種は可能となったが、RSウイルスワクチンの接種が一回あたり3万円を超える高額な費用を負担しなければならないこともあり、十分に普及しないことが明らかになったことから国は、接種効率向上のため本年4月1日より予防接種法に基づく定期予防接種（公費負担）の対象とした。

本町では妊婦健診を受けている医師の判断のもとで接種することが前提であるので産婦人科のある市立釧路総合病院、釧路赤十字病院、足立婦人科クリニックの3つの医療機関限定で接種を行っている。なお、接種時期にあたる対象の方には個別にリーフレットを配布するなど接種勧奨を行い、既に数名の方がワクチン接種を終えて

問 熱中症対策と水分補給について

答 十分な熱中症対策が図られており、学校施設・こども園において現時点で浄水冷水器を設置する考えはない

問 白糠町では、各学園や公共施設にエアコンが整備され、熱中症対策が進んでいるが、ますます温暖化が厳しくなる事が考えられる。

そこで、「熱中症予防」対策に5度から15度の冷水をこまめに補給し体温を下げる事ができると、予防に効果

的であり、子どもたちの熱中症対策のためにも各学園、こども園に浄水冷水器を設置できないか伺う。

答 熱中症対策については、ハード、ソフト両面から対策を講じている。校内のエアコンなど、空調設備を稼働し、暑さ指数計を常時確認し外での活動を中止したり、他教科に替える措置を講じている。ジャージ登校など柔軟な対応をしている。万が一の体調不良や緊急時の備えとして保健室には常に身体を冷却できるグッズや冷たい飲み物を常備し、迅速に対応できる体制を整えている。

日常的な補給や胃腸への負担を考慮し常温水が推奨されていることから、学校生活においては常温水のこまめな補給が適しているものと認識している。現在各校では、児童・生徒が水筒やペットボトルを持参し、行事期間中はスポーツドリンクを飲むことも許可している。校内の水道水は常温に保たれ日常の水分補給に適しているほか、水筒持参の取り組みについても

保護者や教職員の理解のもと円滑に定着している。

したがって現時点で浄水冷水器の設置は考えていない。こども園についても熱中症対策は十分図られており現時点では考えていない。

問 低学年の児童が水筒を持って登下校する時に、転倒しけがをする事が見受けられる。ペットボトルなどに給水できればカバンの中に入れて安全が保たれるのではないかと、この事についてどう思われるか伺う。

答 昨年度の各学校における調査において水筒によるけがや事故は0件であった。ペットボトルの持参も許可している。基本的には摂取できる事になっている。





福地 裕行 議員

問 食品スーパーの出店はいつ?

答 今年度中に着工する

問 未だ結論は示されないが、対象企業の定時株主総会の資料を見ても、出店リストには入っていない。

答 人口規模が小さく、而もその減少率が著しいわが町に出店しても到底黒字化は見込めない。

問 しかし、内閣府の地域未来交付金制度で「買い物弱者ゼロのまちづくり、地方創生の実践」が採択、一億円が交付されるので、誘致の目算立っての申請の結果と判断はするが、経緯と結果を伺う。

答 先方より出店について要請があり、最大限の支援をするよう検討を進めていた。

出店時期は本年春頃の公表と本年度中着工の報告を受けていたが、建築資材の高騰や原材料の不足のため、出店計画や既存店舗の改修など事業全体の見直しが必要となった。

よって、公表についてはもう少しばらく時間をいただきたいとのこと。だが、年度内着工の変更はないとのことである。できるだけ早く町民に具体的な報告ができるよう協議を進めていく。

問 町民は待ち望んでいる。

答 ①せめて、経過報告なりを広報紙やホームページで知らせることも大事。

問 ②場所・地目・面積は。

答 ①できるだけ早く途中経過を知らせる。
②現時点では差し控える。

問 町道の損壊とは何事だ

答 町道とは知らない

問 茶路共栄地区の町道数百が故意に損壊、畑地にされた。

答 現職の農業委員（2人）所属の組織の所業だが、到底看過できない重大事案である。道路管理者の町長に経緯と正命令発出などの対応をたす。

問 5月7日、法人の責任者に確認したら事実を認めた。作業用道路との認識で町道とは知らなかったとのことだが、速やかに原状回復するよう指導した。

答 6月中旬頃には作業完了の予定である。

知らなかったで済むことか。傲慢不遜の行為である。せめて、施工前に地域住民に知らせるべきだった。そうすれば町道と認識できたのではないか。覆水盆に返らずだが。

答 悪意はなかった。

問 高齢者にも日本一やさしいまちを

答 町全体で取り組むよう努力する

問 人口はあれよあれよと言う間に、ついに6740人程になってしまった。

答 特異とも云える極端な人口減少により高齢者比率が高まり、よって単身高齢者世帯も増え、また老々介護の実態もある。

問 併せて、終の住処と定めしまちを不本意ながら哀しい思いで離れる方も見られる。第8次総合計画や第3期総合戦略に準拠して施策を講じてはいるが、特に単身高齢者が孤立せず、生きがいを持って安心して生活できるま

ちを目指し、経済的支援や定住対策などに特化した手法を講じる時である。

答 医療環境の充実・交通の利便性・安全や治安・地域のコミュニティ・生活の利便性・福祉や支援制度について取り組んできたが、これからはより一層地域での人とのつながりを作っていくなければならない。

問 高齢者と話す不満だが、声に出せない、新たな施策を講じられないかと言われる。孤立を視点にハード面にも意を用いるべきではないか。高齢者の意識と行政の現状認識にない離がある。生活満足度調査なりアンケート調査も必要ではないか。

答 所得を含め生活面での不安が大きいようであるが、連動する医療の面も含め検討を続ける。



中河 敏史 議員

問 生き生き白糖健康入浴事業の入浴基準日を変更できないか

答 調整し検討する

問 生き生きしらぬか健康入浴事業について70歳以上とあるが、基準日を70歳になった日に変更できないか。

答 「基準日を70歳になった日に変更できないか」とのことだが事業開始当初より、対象者把握やそれに伴う事務手続きにより4月1日を基準日として70歳以上を対象に事業を実施してきた。

基準日を70歳の誕生日とするにあたっては、今後、事業の業務委託をしている株式会社オカモトとの手続き上の連携が必要となるため調

整した上で検討する。

問 同事業に対し、遠隔地で利用しづらない方の対応はできないか

答 交通機関の利便性向上を図る

問 生き生きしらぬか健康入浴事業に対し、遠隔地で利用しづらい方に何らかの対応ができないか。

答 事業目的は、高齢者のかたがたの外出支援と健康づくりやふれあい、相互交流につなげていただけるよう取り進めている事業である。さらには、少しでも多くのかたがたが利用しやすいように交通弱者などの移動手段として、タクシー運賃の助成とともに、町内を循環する町営バス（コミュニティバス・予約制バス）の停車所などについても考慮し、利便性の向上を図っている。

問 対象者の人数と利用者数は。

答 対象者2378人、利用者75人。



問 課税対象へも福祉灯油支給を

答 支給は考えていない

問 福祉灯油購入助成について65歳以上、個人市町村民税課税世帯、扶養義務者が課税されている場合、不支給となっている。高齢者事業であれば支給対象となるのでは。

答 福祉灯油購入助成については、平成12年度より、生活困窮者の冬季における経済的負担の軽減を図ることを目的に実施しており、これまでの間、社会情勢などを踏

まえ、事業の見直しを図ってきた。当該事業の目的から助成対象を変更することはない。

問 市街地の公園をさらに緑豊かに

答 魅力ある公園づくりに努める

問 本町においても人口減少が進み、公園で遊ぶ児童生徒の姿があまり見かけなくなつた。そこで今後の公園づくりをより緑豊かなものに。

答 本町の市街地には逍遙公園やふれあい公園のように中規模の公園が2カ所、そのほか小規模公園が17カ所あり、計19カ所設置している。公園の緑化については、潤いのある景観形成や利用者の憩いの場として重要であるものと認識している。これまでも緑豊かな公園づくりに留意し、植樹や芝の整備をはじめ、町内会で植栽している花壇整備などを通じ、一定程度の緑地環境は確保されているものと考えている。緑





白糠学園・庶路学園体育祭

表紙の茶路小中学校だけでなく、白糠学園（写真右列）・庶路学園（写真左列）でも体育祭が行われました。どの子も笑顔と真剣なまなざしで、練習の成果を発揮していました。

勝ち負け以上に大切なことを学び、とても素敵な体育祭となりました。



あとかき

6月定例会では、橋の改良工事や白糠駅前広場整備、防災に関する事業などの議決がなされました。一般質問では、それぞれの議員が活発に議論を交わされました。

さて、少しずつ暖かくなり、夏らしいイベントが増えてきました。先月開催された大漁まつりを皮切りに、厳島神社例大祭、花火大会など、近年、町内はもとより、道内外からも多くの客が訪れる魅力的な風物詩になっています。

また、白糠駅前広場が令和10年の供用開始を目指して、新しく生まれ変わろうとしています。

住む人にも訪れる人にも、愛着を持たれる白糠のまちであり続けてほしいと願います。

（立石 巧）



白糠町植樹祭



5月15日、庶路学園の3年生14人と白糠高校の1年生23人も参加して、総勢111人で白糠町植樹祭が実施されました。

当日は天候にも恵まれ、植樹をとおして持続可能な森林管理の大切さを学びました。